

● 巾着網(中部標本船)

○マイワシは、6月から8月に平年値を大きく上回る漁獲量であった(図1)。

○カタクチイワシは、2月から6月に平年を上回る漁獲が見られたが、7月以降は平年を下回った(図2)。

● 機船船びき網(南部標本組合)

○イワシシラスは、3月から6月と9月・11月・12月に平年値を上回る漁獲量であった(図3)。

○イカナゴは、ほとんど漁獲がなかった(図4)。

● サワラ流し網(南部標本組合)

○サワラは、4月・5月と7月・8月・12月は平年値を上回る漁獲量であったが、9月から11月は平年を下回った(図5)。

● アナゴかご(中部標本組合)

○マアナゴは、1月から6月にかけて平年値を下回る漁獲量となり、7月以降は出漁がなかった(図6)。

● スズキ流網(中部標本組合)

○スズキは、7月から9月にかけて出漁したが、平年値を下回る漁獲量であった(図7)。

● 小型底びき網

石桁網(中部標本組合)

○シタ類は、周年を通して平年値以上の漁獲量であった(図8)。

○マコガレイは、7月・8月に平年並の漁獲量であったが、他の月は低調であった(図9)。

○メイタガレイは、4月・5月・6月・8月・9月は平年値を上回る漁獲量であったが、他の月は平年を下回った(図10)。

○ヒラメは、ほぼ平年並の漁獲量であったが、3月は平年の2倍の漁獲であった(図11)。

○オニオコゼは、1月から4月に漁獲が多かった(図12)。

○マゴチは、周年平年値を上回る漁獲量であった(図13)。

○ネズツポ類(がっちょ)は、4月と9月に平年を上回る漁獲があった(図14)。

○キスは、3月から8月に平年を上回る漁獲があった(図15)。

図1

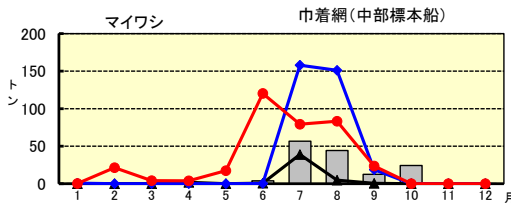


図2

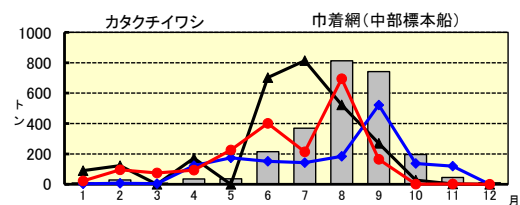


図3

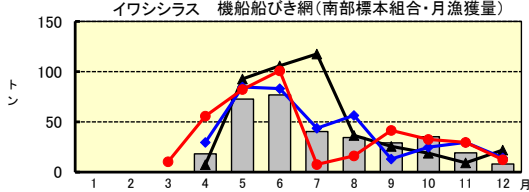


図4

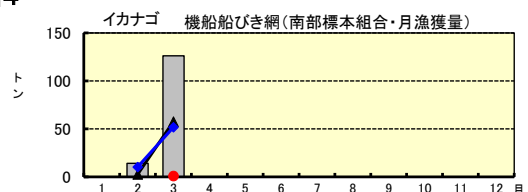


図5

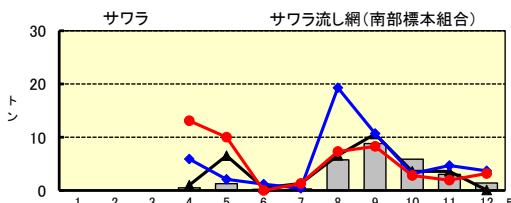


図6

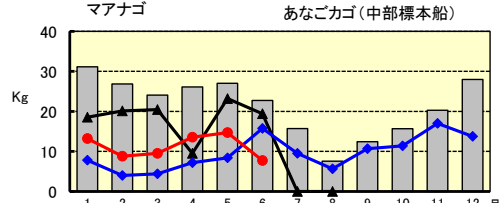


図7

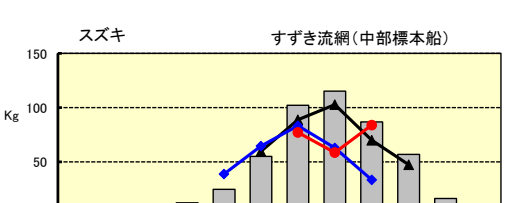
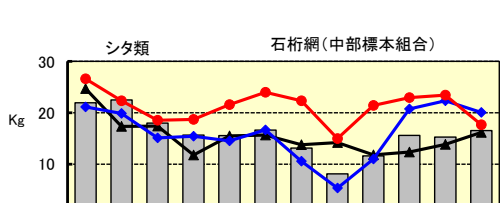


図8



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。 注:図1、図2、図3、図4、図5は、月漁獲量(トン)を示す。

■ 平年値 ● 平成28年 ◆ 平成27年 ▲ 平成26年

図9

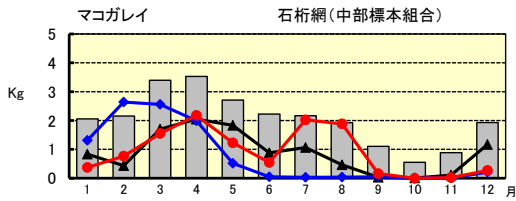


図10

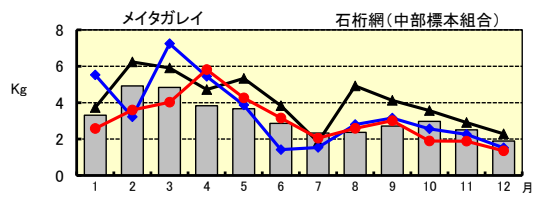


図11

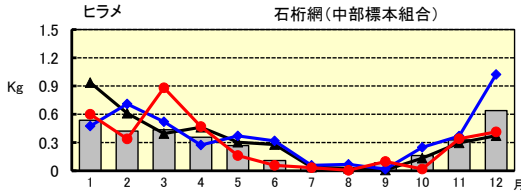


図12

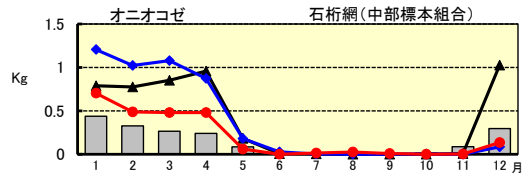


図13

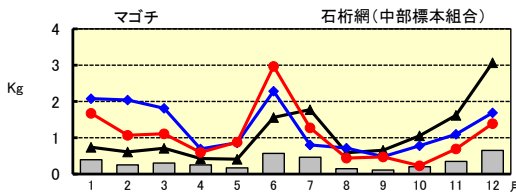


図14

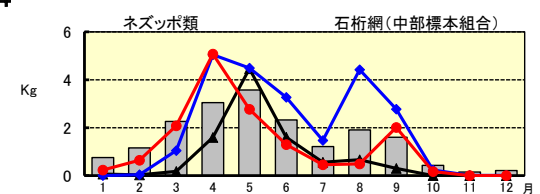


図15

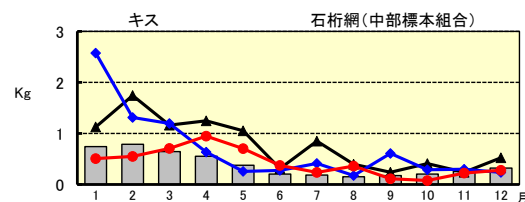


図16

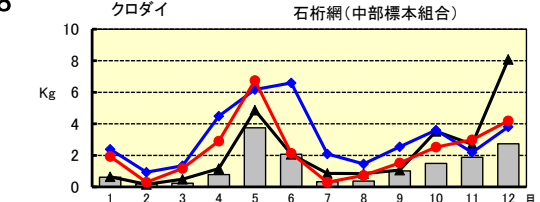


図17

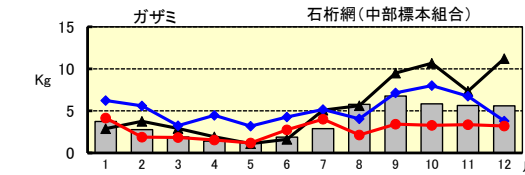


図18

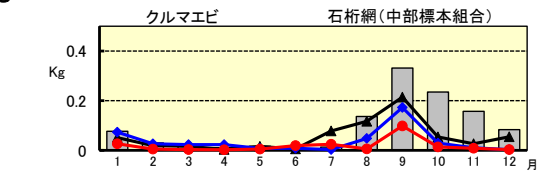


図19

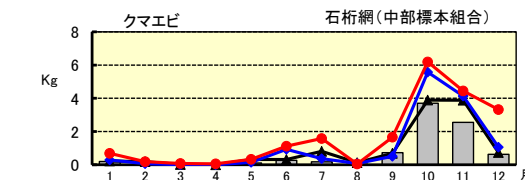


図20

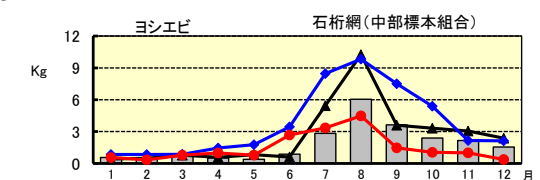


図21

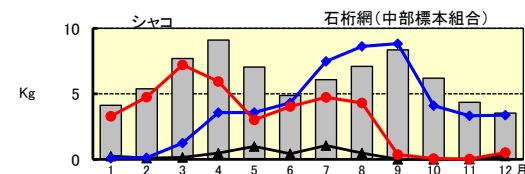


図22

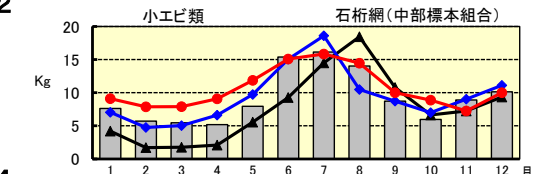


図23

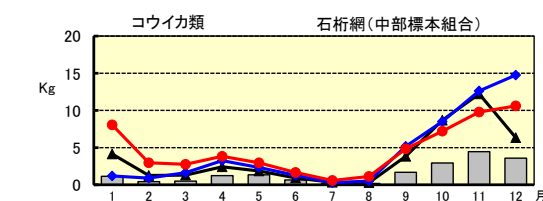
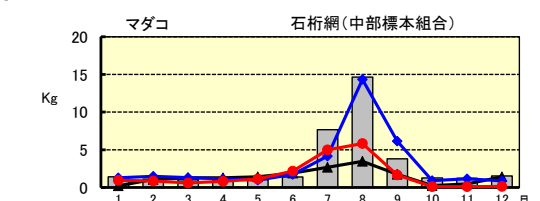


図24



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値 ● 平成28年 ◆ 平成27年 ▲ 平成26年

- クロダイは、ほぼ周年平年値以上の漁獲量であった(図16)。
- ガザミ(わたりがに)は、1月と6月・7月を除き平年値を下回る漁獲量であった(図17)。
- クルマエビは、周年低調な漁獲であった(図18)。
- クマエビ(あしあか)は、1月・6月・7月と9月から12月にかけて、平年値を上回る漁獲量であった(図19)。
- ヨシエビ(しらさ)は4月から7月にかけて平年値を上回ったが、8月以降平年値を下回った(図20)。
- シヤコは、1月から8月にかけて、平年値をやや下回る漁獲量があったが、9月以降は漁獲がほとんどなかった(図21)。
- 小エビ類は、周年平年値以上の漁獲量であった(図22)。
- コウイカ類は、7月を除き、平年値を上回る漁獲量であった(図23)。
- マダコは、1月から6月は平年並みの漁獲量であったが、7月以降は平年値を下回った(図24)。
- アカガイは、4月から貝毒が発生し出荷規制が長期化した。7月以降は平年値を上回る漁獲量があった(図25)。
- トリガイは、2月に漁獲量が急増したが、貝毒が検出されたため、4月に出荷規制があった(図26)。

図25

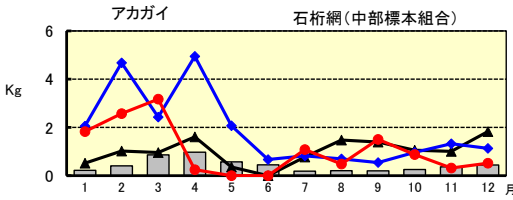


図26

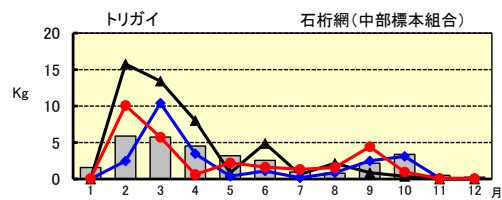


図27

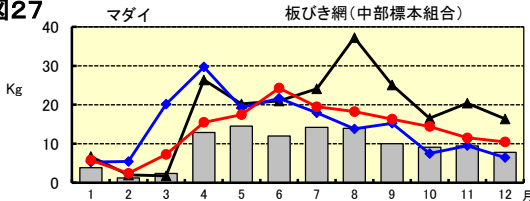
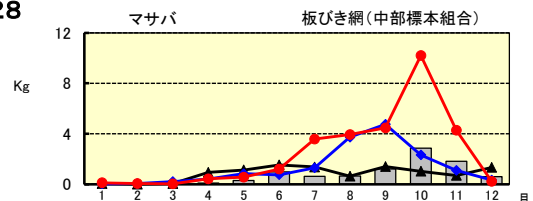


図28



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値 ● 平成28年 ◆ 平成27年 ▲ 平成26年

● 小型底びき網

板びき網

- 中部のマダイは、周年平年値を上回る漁獲量であった(図27)。
- 中部のマサバは、5月から11月にかけて、平年値を上回る漁獲量であった(図28)。
- 中部のスズキは、周年平年値を大きく下回る漁獲量であった(図29)。
- 中部のアジ類は、周年平年値以下の漁獲量であった(図30)。
- 中部のクロダイは、1月から4月と9月・10月・12月に平年値を上回る漁獲があった(図31)。
- 中部のハモは、4月から12月は平年値を上回る漁獲量であった(図32)。
- 中部のシログチは、1月から5月は平年値を下回ったが、6月以降は平年値並みの漁獲量であった(図33)。
- 中部のtachuoは、1月から3月は平年値を大きく上回る漁獲量であった(図34)。
- 中部のマナヅオは、1月と4月から9月にかけて、昨年・平年値を上回る漁獲があった(図35)。
- 中部のイボダイ(うぼぜ)は、主な漁獲期の7月から9月の漁獲量は平年値を下回った(図36)。
- 中部のカワハギ類は、2月・3月を除いて漁獲量が平年並みか平年値を下回った(図37)。
- 中部のジンドウイカ(ひいか)は、8月と9月に平年値を上回る漁獲量があった(図38)。
- 中部のコウイカ類は、1月から5月と11月・12月に昨年・平年値を上回る漁獲量であった(図39)。
- 中部のマダコは、6月と7月のみ平年値を上回る漁獲量であった(図40)。
- 南部のアジ類は、ほぼ周年平年値を上回る漁獲量であった(図41)。
- 南部のハモは、4月以降平年値を上回る漁獲量であった(図42)。
- 南部のイボダイ(うぼぜ)は、7月から10月にかけて平年値を上回る漁獲量であった(図43)。
- 南部のコウイカ類は、1月から5月と9月から12月にかけて、平年値を大きく上回る漁獲量であった(図44)。

図29

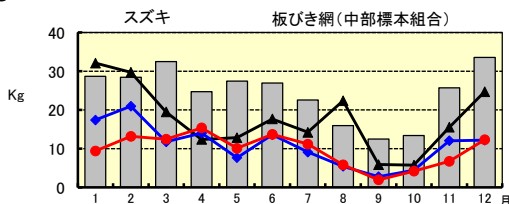
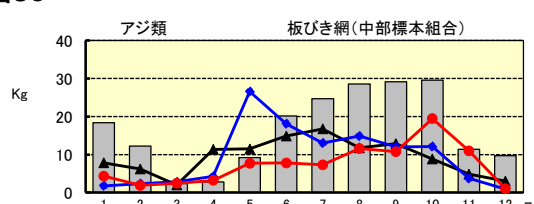


図30



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値 ● 平成28年 ◆ 平成27年 ▲ 平成26年

図31

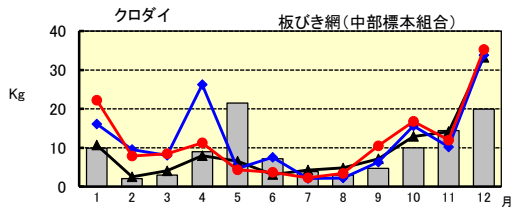


図32

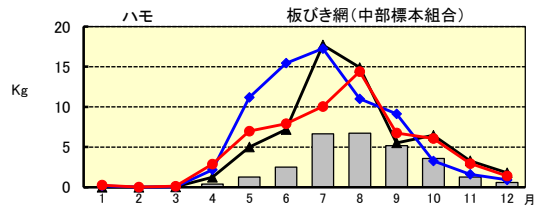


図33

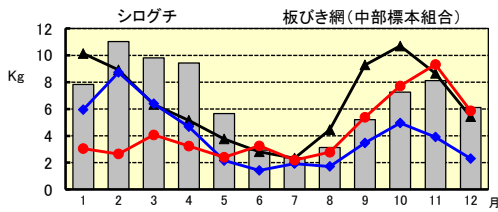


図34

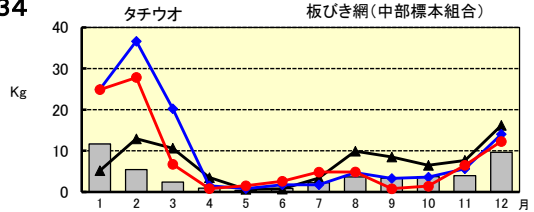


図35

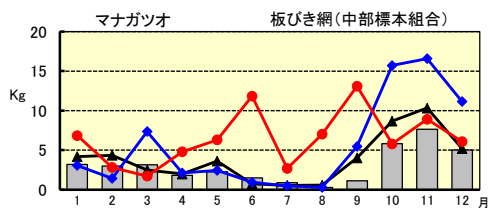


図36

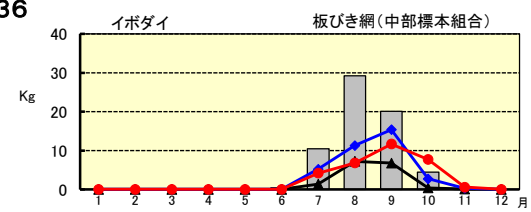


図37

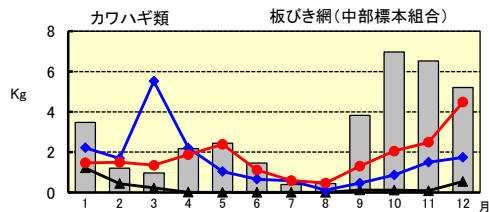


図38

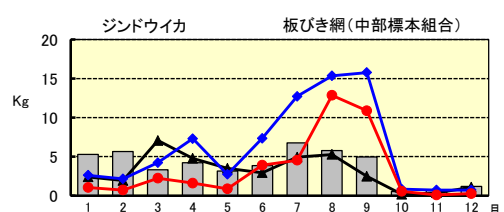


図39

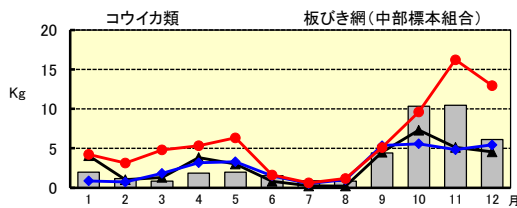


図40

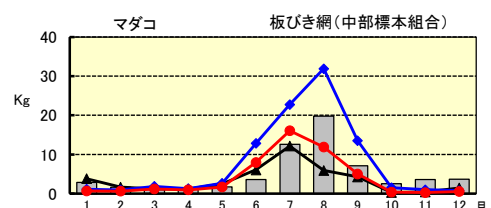


図41

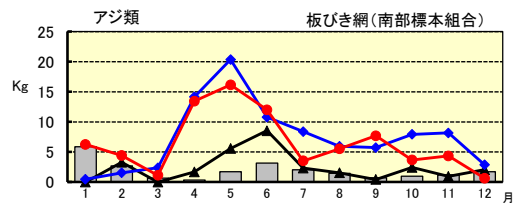


図42

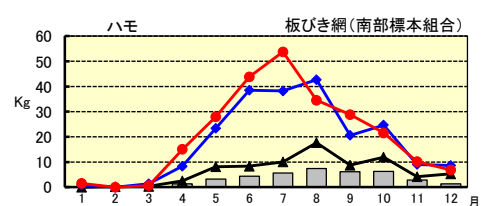


図43

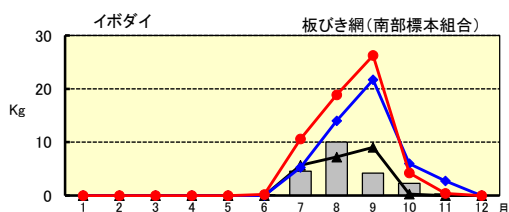
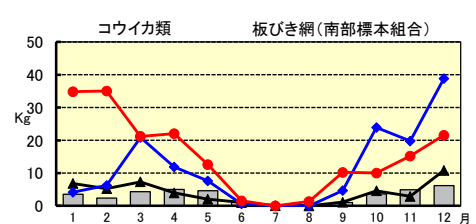


図44



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。



平均値



平成28年



平成27年



平成26年